

日本会議 愛知県本部

〒464-0836

愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302

E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL: 052-763-4678

FAX: 052-763-4588



日本会議地域講演会 in 知多 開催！

□ 去る5月28日(土) 東海市市民活動センターにおいて、前衆議院議員の杉田水脈先生をお招きし「国連における日本の名誉回復の戦い」と題した講演会が開催された。



森藤左工門愛知県本部理事長 挨拶

国連を舞台に日本人による反日活動によって、慰安婦問題や男系皇位継承が女性差別であるなどと、日本の真実の歴史が大きく歪められている昨今、杉田先生による「従軍慰安婦が存在したとする資料は見つかっていない」との



日本のことを大切にする党 井桁まこと氏 挨拶

発表は、一石を投ずるに余りある内容だった。例によって国内マスコミは、これを一切報じない構えであった。それにめげることなく精力的に活動を続ける先生の奮闘をはじめ、今後の展望などが語られた。会場は県外からの聴講者もあり、100名を超えて盛会の内に終了した。



熱弁をふるう杉田水脈先生
国内では従軍慰安婦問題の嘘は暴かれつつあるが、国連の場で我々の主張はまだマイノリティとの事

名古屋東部支部 第32回街宣活動実施！

- 5月29日(日) 午後1時～3時
- 昭和区御器所交差点南西角地にて
- 参加者5名



第3回憲法改正推進会議を開催

□ 去る5月31日、愛知県神社庁会議室において、第3回憲法改正推進会議が開催された。当日は、国会議員(代理)3名、地方議員6名、協力団体代表、本会役員、支部長の計26名の出席を得て、昨年度の運動報告と、今年度の運動方針につき審議された。とりわけ、賛同者拡大運動については、愛知県目標の30万名を4月25日現在で突破したことの報告があり、満場の拍手でこれを称えあつた。今後は、来るべき国民投票に備えて、賛同者への情報発信や、ネットワーク構築に向けて準備することが提起された。また、直近の参議院選挙においても、改憲勢力3分の2を確保すべく、支援することなども方針に盛り込まれた。その後、浜谷英博氏(三重中京大学名誉教授)より、緊急事態条項についてのお話も伺い、その方面への理解が深められた。



沢山の方がチラシを受け取って下さった

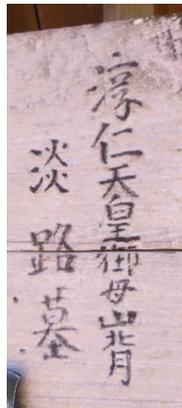


5人の弁士がそれぞれの視点から訴えた

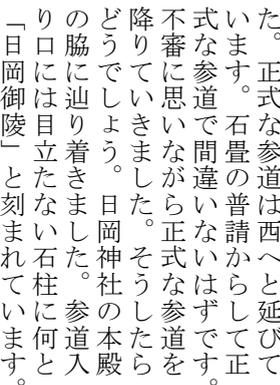


陵墓参拝記 その十七

西日本巡礼の旅十五日目、今日は淡路島に渡ります。鳴門インターから高速道路に入るとじきに鳴門海峡そして淡路島です。淡路島ではまず、淳仁天皇の淡路陵を参拝しました。二礼二拍手一礼。八年ぶりの参拝です。それから南へおよそ一キロのところにある淳仁天皇のお母様であり、舎人親王、追尊天皇崇道、天智天皇の御母、山背妃のお墓を参拝しました。二礼二拍手一礼。



次は北北東へ五キロほど、淳仁天皇の初葬地とされる市陵墓参考地を参拝しました。二礼二拍手一礼。そこからさらに北北東に三キロほど、式内名神大、淡路国二之宮の大和國魂神社を参拝しました。二礼二拍手一礼。車を走らせていると「おのころ島神社」の看板が目に入りました。ノーチェックでしたが思わずそちらの方向にステアリングを切り直しました。昭和五十七年三月に建立されたという、高さ二メートル余りの朱塗りの大鳥居が目を引きまします。いつの時代の創建かはうたわれていませんが、古くから崇敬を集めているとのこと。淡路島より先にできたおのころ島がこの丘であると伝えられているそうです。二礼二拍手一礼。



淡路島最後の目的の地は式内名神大淡路国一之宮の伊弉諾神宮です。国産み、神産みを終えた伊弉諾尊が、最初に生んだ淡路島多賀の地の幽宮(かくりのみや)に鎮まつたこととす。一礼二拍手一礼。本殿の両脇には日本会議の憲法改正の幟旗が堂々と掲げられていました。



淡路島を後にして明石海峡大橋を渡り西の加古川市に向かいました。目的の地は景行天皇の皇后、播磨稲日大郎姫命の日岡陵です。日本武尊のお母様の御陵です。西隣に日岡神社という神社があります。式内社です。当然御陵と関連していると思ひ参拝しました。二礼二拍手一礼。しかし御由緒書きに近くは御陵があることが記されているだけです。境内を見回してもそれらしき案内板はありませんでした。あきらかにそこらから四百メートルほど東の方に離れた日岡山公園の駐車場に車を止め日岡山に登りました。山の頂に日岡陵がありました。二礼二拍手一礼。とここで登ってきた道は御陵の参道の途中につながっていました。正式な参道は西へと延びています。石畳の普請からして正式な参道で間違いはないはずですが不審に思いつつながら正式な参道を降りていきました。そうしたらどうでしょう。日岡神社の本殿の脇に辿り着きました。参道入り口には目立たない石柱に何と「日岡御陵」と刻まれています。

日本武尊のお母様の御陵をもつとアピールすべきと思ひました。神職の方はお祓いを受けようとする参拝客の相手をしていたので社務所の女の子に訴えました。彼女は戸惑いながらも神職に伝えますと受けてくれました。炎天下日陰を見つけては入りながら日岡山公園駐車場まで戻りました。そして加古川から東へ少し戻り西明石を目指しました。次は欽明天皇皇女、用明天皇皇子当麻皇子妃の舎人姫王の玉津陵墓参考地です。きれいに形を残す前方後円墳で墳丘長は百二メートル、水をたたえたお堀に囲まれています。二礼二拍手一礼。この周辺にはいくつかの古墳群があったようですが宅地開発のために壊されてしまったこととす。



西明石から更に東へ芦屋を目指します。芦屋の高級住宅地の中に佇む、平城天皇皇子の阿保親王のお墓を参拝しました。二礼二拍手一礼。阿保親王は嵯峨天皇に在原姓を賜われ臣籍降下しました。歌人在原業平は阿保親王の第五王子です。

これより東へ進むと陵墓が無数に点在する大阪、京都、奈良地区に入り、今度の旅の締めくくりにして、大阪府をスルーして、今まで参拝できなかった奈良郡御所市にある日本武尊の白鳥三陵の一つ、琴引原白鳥陵を参拝しました。二礼二拍手一礼。

事務局日誌(五月)

服部守孝

さらに南へ六キロほどの允恭天皇の第二皇子坂合黒彦皇子のお墓も参拝しました。二礼二拍手一礼。その日は橿原のビジネスホテルに宿泊し、翌日はこの旅の締めくくりにして橿原神宮と神武天皇陵を参拝しました。二礼二拍手一礼。こうして走行距離五千キロ超に及ぶ私の長い長い巡礼の旅は終わりを迎え、名古屋へと戻りました。(愛知県本部 事務局 松川秀康)

三日(火)第十二回愛知憲法フォーラムを開催。百三十名の参加者があり、満席となる。報道各社は、読売新聞、朝日新聞、東海テレビであった。第一部は、東京会場の模様をインターネット中継。第二部は、「女子の集まる憲法おしやべりカフェ」編集者・いさやまひとみさんの講演会。いさやまさんのお話は女性の視点から語られて、大変わかりやすく、しかも楽しく聞けるものだった。終了後、講演に心を動かされた参加者が、講師を取り囲んでいたのも印象的だった。

八日(日)今日は母の日。母が他界して四十五年となる。当時、私は十三才だった。大学卒業後、三年は地方の役所で働いたが、その後、家を出てこの運動に飛び込んだ。長男の務めを果たさず、親不孝の限りを尽くした半生だったが、家庭を持ち、二人の子を育て成人させることもできた。母が天から守ってくれたおかげであると、しみじみ思う。十八日(水)もうひとつの戦争展全体会議に出席。本年度の出版七団体代表が集まり、展示ブースの場所や企画について協議があった。二十三日(月)鈴木知多支部長宅を訪問。土曜日に開催される、知多支部主催講演会の備品などを届けた。奥様が朝摘みのそら豆を持たせて下さり、早速、夕餉にいただいた。二十六日(木)天皇皇后両陛下のパラオ、フイリピン行幸啓の写真パネルを、今夏の戦争展で展示することとなり、その事務打ち合わせを行う三十日(月)憲法おしやべりカフェが小牧市で開催され、東京からいさやまひとみ講師を送迎した。主催された方は、先の憲法フォーラムに参加され、いさやまさんの話に感動して、是非友人にも聞かせたいと発願したとの事。二〇名もの参加者があった。

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 7月3日(日)午前7時開始。
- 引き続き8月7日(日)午前7時開始とします。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
- ★6月5日は、雨のため4名の奉仕者で窓枠の掃除をしました。7月より毎月第1日曜の午前9時より一般の方も昇殿参拝ができる「月参り」があります。



(6月5日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。